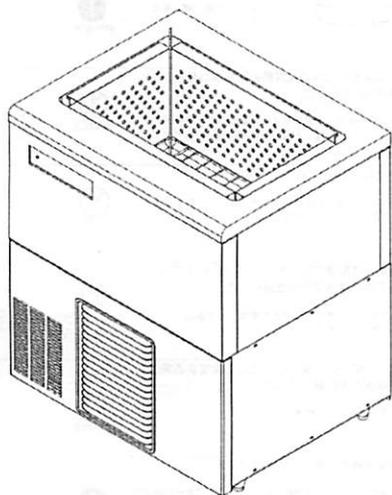


冷水チラー

取扱説明書

お客様用

形名 QCW-08CMD



もくじ

安全上のご注意	1～2
お使いになる前に	3
正しい使い方	4
製品構造	5～11
食材の入れ方	12～13
運転の分類と説明	14
操作方法	15～18
お手入れと点検	19～20
修理を依頼するまえに	21～22
移設・廃棄・譲渡	23
保証とアフターサービス	24

- ・このたびは、冷水チラーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- ・この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえにこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- ・お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- ・保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受けとっていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

●表示の意味は次のようになっています。

	警告	隔った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
	注意	隔った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が、想定される内容を示します。

●物的損害とは、家屋・家財および家具・ペットにかかわる甚大損害を示します。

記号の例

	感電注意	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。具体的な注意事項は、△の中や近くに記号や文章で示します。左の場合は「感電注意」を示します。
	分解禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに記号や文章で示します。左の場合は「分解禁止」を示します。
	電源プラグコンセントから抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに記号や文章で示します。左の場合は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。

警告

据え付けは、販売店または専門業者に依頼すること

- ご自分で据付工事を行わずに、水漏れや感電・火災の原因になります。



専門業者

移動は、販売店または専門業者に相談すること

- 据え付けに不備があると水漏れ、感電、火災等の原因になります。



専門業者

アース工事を必ず行なうこと

- アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。電気工事業者によるD種接地工事が必要です。



必ずアース付
接続せよ



電源は専用コンセントを使用し、電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用・タコ足配線をしないこと



タコ足禁止



- 感電や発熱・火災の原因になります。

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理は行わないこと

- 分解、修理に不備があると異常動作によりケガをしたり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。



分解禁止

いかなる場合も改造は行わないこと

- 改造に不備があると異常動作によりケガをしたり、感電、火災などの原因になります。



改造禁止

屋外で使用しないこと

- 雨水のかかる場所でご使用されますと、漏電・感電の原因になります。



屋外禁止

異常時は配電ブレーカーを『OFF（切）』にしてから電源プラグを抜くこと

- 異常のまま運転を続けると感電、火災等の原因になります。



電源プラグ
コンセントから抜く



湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

- 絶縁低下から漏電、感電の原因になります



湿気禁止

製品の使用を一時的に中止して保管する場合は、幼児が遊ぶ場所を避けること

- 事故の原因になります。



密閉禁止

水槽の中以外に直接水をかけないこと

- ショート、感電の原因になります



水かけ禁止

廃棄は専門の業者に依頼すること

- 放置しますと幼児が触り込められるなど事故の原因になります。



専門業者

ぬれた手で電源プラグ等の電気部品に触れたり、スイッチ操作をしないこと

- 感電の原因になります。



ぬれた手禁止



電源コードを傷つけないこと

- 加工したり、無理に曲げたり、引っこたり、たばねたりまた重い物を載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。火災、感電の原因になります。



禁止

電源プラグは、ほこりが付着していないか定期的に確認し、がたつきのないように歯の視元まで確実に差し込むこと

- ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。



点検掃除



揮発性、引火性のあるものは水槽内に入れたり近くで使用しないこと

- 爆発や火災の原因になります。



引火物禁止



お使いになる前に

1. 据付工事

 **警告**

据え付けは、販売店または専門業者に依頼すること

●ご自分で据え付け工事され、不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

 専門業者

2. 据付工事終了時の確認

- 据付工事が終了しましたら、正しい工事が行われていることを『据付工事説明書の据付作業終了時の確認』の据付作業確認証に従って確認してください。この確認は、お客様が立ち会いの上、専門業者といっしょに行なってください。
- 据付工事説明書は工事が終了したとき、専門業者よりお受け取りになり、お客様ご自身で保管してください。

— おお願い —

- 製品は5～35℃の場所に設置してください。
- 梱包時に消掃してありますが、もう一度水槽内を消掃してください。

正しい使い方

⚠ 警告

ぬれた手で電源プラグ等の電気部品を触れたり、スイッチ操作をしないこと。

●感電の原因になります。



ぬれ手禁止

異常時は配電ブレーカーを『OFF (切)』にしてから電源プラグを抜くこと

●異常のまま運転を続けると感電・火災等の原因になります。



電源プラグ
コンセントから抜く

⚠ 注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

●電源コードを引っ張って抜くと、芯線の一部が断線して発熱・発火の原因になることがあります。



注意

電源プラグの抜き差しによる製品の運転・停止は行なわないこと

●電源コードを引っ張って抜くと芯線部が遮断して発熱・発火の原因になることがあります。



禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないようにすること

●スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



可燃物禁止

■運転のしかた

1. 専用コンセントの配電ブレーカーが「OFF (切)」になっているのを確認してください。



2. 本体の漏電ブレーカーが「OFF (切)」になっているのを確認してください。
(漏電遮断器の位置についてはP.5参照)

3. 専用コンセントに電源プラグを確実に差し込んでください。
4. 専用コンセントの配電ブレーカーを「ON (入)」にしてください。



5. 本体漏電ブレーカーを「ON (入)」にしてください。

— おお原しい —

食品は「食材の入れ方」をよくお読みになってから入れてください。

(P.12~13参照)

■停止のしかた

1. 冷却運転中、予冷運転中は必ず待機中に戻してから本体漏電ブレーカーを「OFF (切)」にしてください。
「操作方法」(P.15~16参照)
2. 専用のコンセント配電ブレーカーを「OFF (切)」にしてください。



3. 専用コンセントから電源プラグを抜いてください。

— おお原しい —

運転をやめてからすぐに運転すると冷凍機に無理がかかり、故障のもとになります。
必ず5分以上お待ちください。

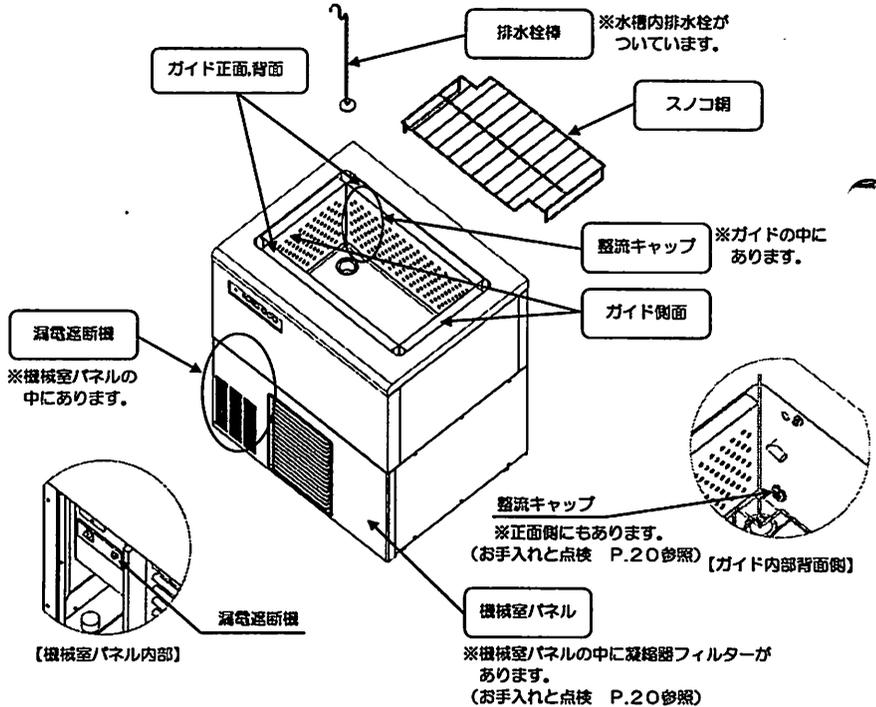
■長期間使用しないとき

1. 水槽内を清掃後十分に乾燥させてください。

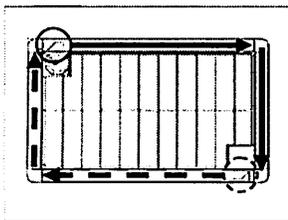
製品構造

製品構造

本機の基本構造ですが、下図の水槽に溜めた水を冷却します。水槽内は循環ポンプで攪拌します。

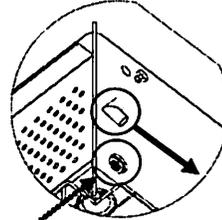


循環ポンプ運転時の水の流れ (攪拌)



- : 循環ポンプ①
- - - → : 循環ポンプ②
- : 吐出 (循環ポンプ①)
- : 吐出 (循環ポンプ②)

[ガイド内部背面側] ※正面側にもあります。



- (水)
- : 吐出 (循環ポンプ①)
- : 吸込 (循環ポンプ①)

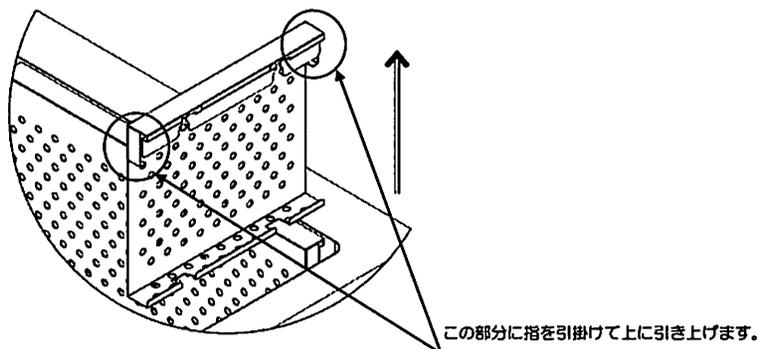
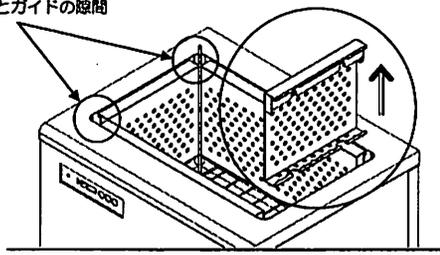
※冷却運転中は危険ですのでポンプ吐出、吸込には触れないでください。

製品構造

●水槽内部部品取り外し、取り付けについて

【ガイド取り外し方法】

ガイドとガイドの隙間

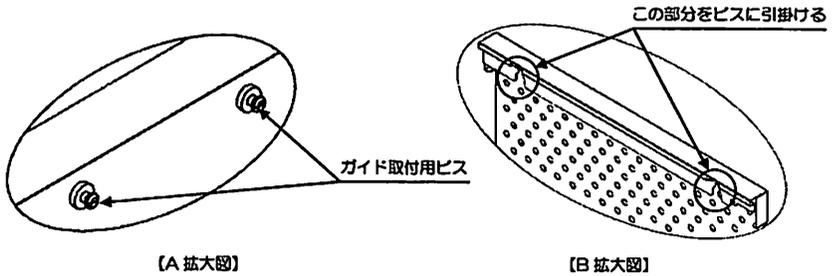
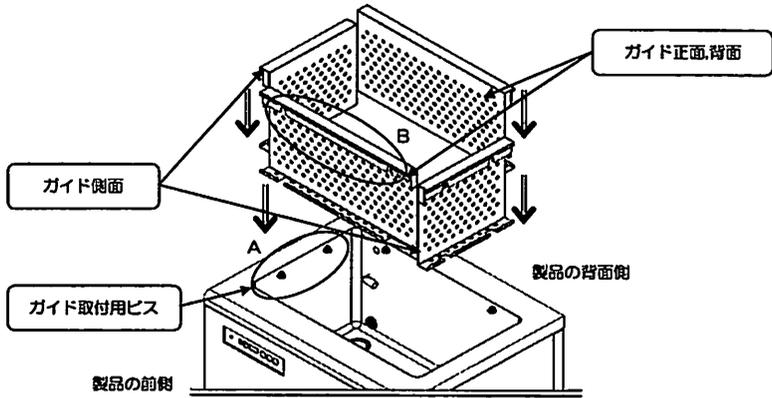


【A 拡大図】

1. 排水栓がついている場合は、排水栓を取り外してください。(P.8参照)
2. ガイドとガイドの隙間に指を入れ、ガイドの両端に指を引掛けて垂直に上へ引き上げることで取り外せます。
ガイド正面、背面、ガイド側面の長さは異なりますが取り外し方は同じです。

製品構造

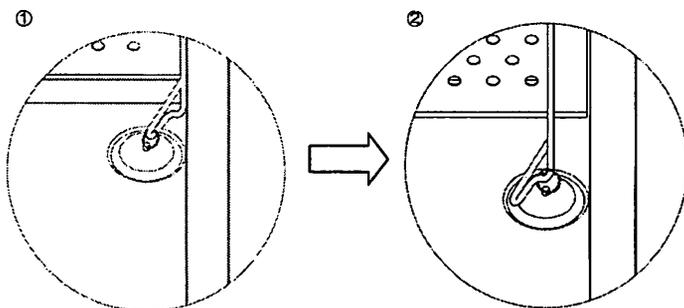
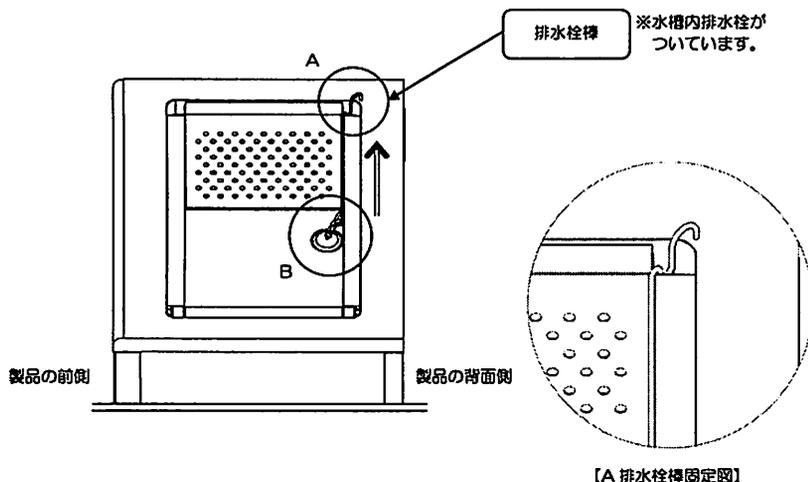
【ガイド取り付け方法】



1. ガイド正面、背面、ガイド側面を一枚ずつ水槽内のガイド取り付け用ビスに引掛けてください。
※取り付けたあと、がたつきがないよう確認してください。

製品構造

【排水栓取り外し方法】

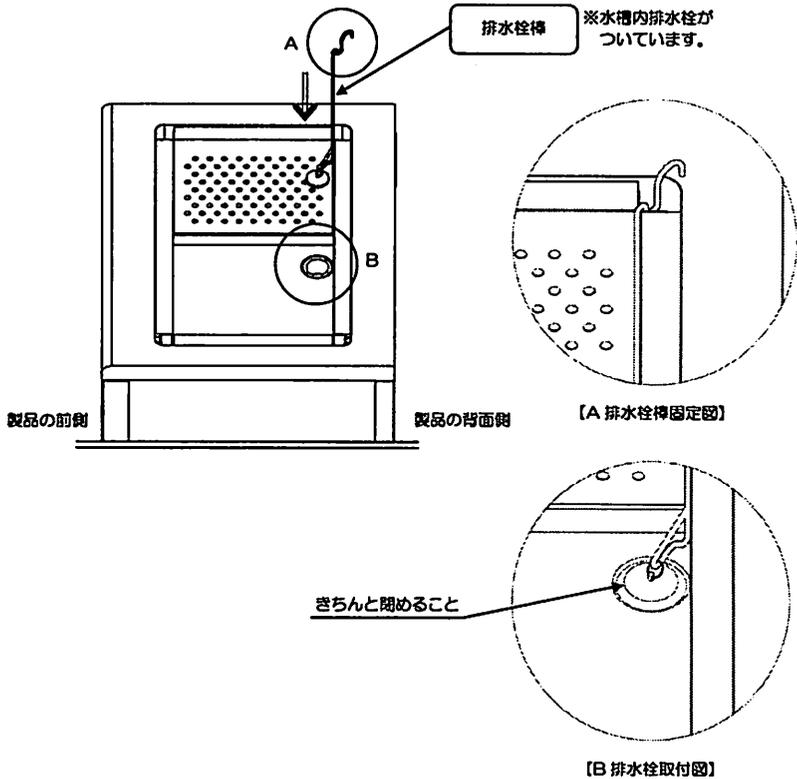


【B 排水栓棒取り外し状態】

1. 排水栓棒のA部をつかみ、上に引っ張ってガイドから外してください。
2. 排水栓棒のA部をつかみ、排水栓棒についているリングの位置を【B排水栓棒取り外し状態】
①→②のように移動させてください。
①の状態でも排水栓棒は外れますが、②の状態にした方が外れやすくなります。

製品構造

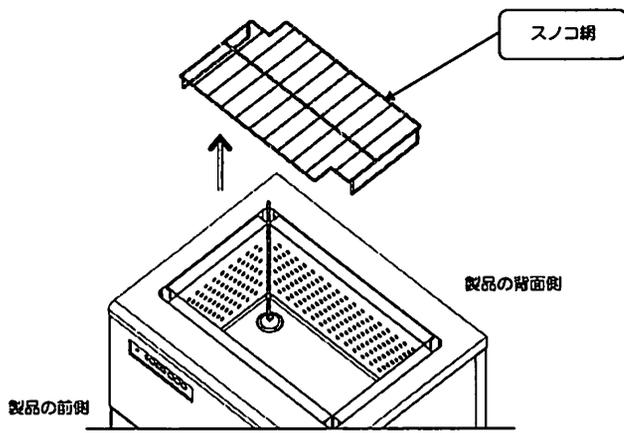
【排水栓取り付け方法】



1. 排水栓を排水口にはめこんでください。排水栓棒に排水栓がついています。
※排水栓が閉まっているか確認してください。きちんと閉まっていなくて水槽内の水が排水され、運転に支障をきたす恐れがあります。(B 排水栓取付図参照)
2. 排水栓棒のA部は排水栓を閉めたあと、排水栓棒固定図のようにガイドに引掛けてください。

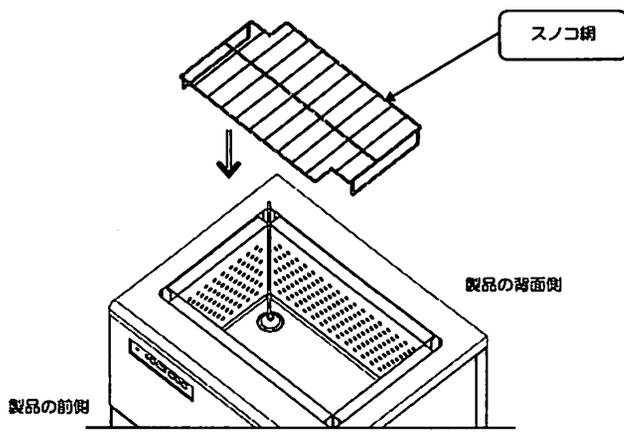
製品構造

【スノコ網取り外し方法】



1. スノコ網を水槽内から取り出してください。

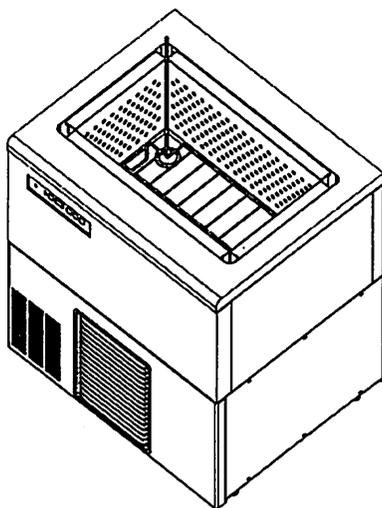
【スノコ網取り付け方法】



1. スノコ網を水槽内に入れてください。

製品構造

【水槽内部品取り付け図】



食材の入れ方

警告

揮発性、引火性のあるものは
庫内に入れないこと

●爆発や火災の原因になります。



引火物禁止

注意

食品の冷却用として使用すること

●目的外の用途でご使用されますと保存品の品質低下などの原因になることがあります。

●水位ラベルまで水を注水しないと不具合が発生する恐れがあります。



用途注意

<食材投入の前に>

- 水槽内への注水前に排水栓がきちんと閉まっているか確認してください。
- 水槽内の部品が正しく取り付けられていることを確認してください。
- 水槽内への注水は必ず水道水（飲料水）を使用してください。
- 水位ラベルの位置まで、水道水（飲料水）を注水してください。
- 冷却運転または予冷運転を行い、水槽内の水を冷却してください。
- 制御板の適温ランプ（線ランプ）が点灯すると食材を投入するのに適した水温になっています。食材を冷却している途中に、適温ランプ（線ランプ）が点灯することがあります。新しい食材を投入する場合は水槽内に入っている食材を取り出してから投入してください。

<食材投入>

- 食材一回当たりの投入量上限は10kgです。
※上限以上に食材を投入してしまうと冷却性能を保つことができません。

食材の入れ方

<食材投入の目安>

例) 冷却食材：カレーパック：1kg×10パック 計10kg

85℃のカレー1kg×10パックを冷却します。

外気条件 30℃,湿度60%,水温0℃設定（オプション品の棚網上,中,下を使用）

1. 水槽に水を注入し、冷却します。
2. 適温ランプ点灯後、カレーパックを各階層に投入し食材の冷却を開始します。
（上段に3パック,中段に3パック,下段に4パックに分けています。）
3. 食材投入後90分で水槽から取り出します。

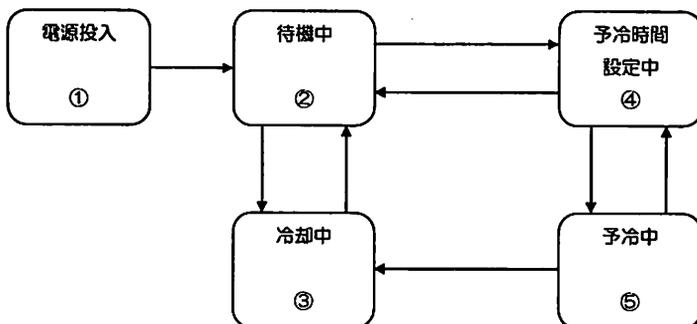
50Hz：約60分で3℃以下に到達。

60Hz：約65分で3℃以下に到達。

※この内容は参考値であり設置条件や食材の投入量により結果が異なります。

運転の分類と説明

<状態推移図>



【①電源投入】

- ・コンセントをさした状態です。

電源投入後、操作板の電源ランプ(緑ランプ)が点灯し待機中へ移行します。

【②待機中】

- ・漏電遮断器をONにした状態です。

運転ボタンを押すと、冷却運転を開始します。(P.12~13 参照)

設定/予冷ボタンを押すと、予冷時間設定に進みます。(P.12~13 参照)

【③冷却中】

- ・設定水温で冷却を行っている状態です。

【④予冷時間設定中】

- ・予冷完了時間が設定できる状態です。

【⑤予冷中】

- ・予冷運転を行っている状態です。

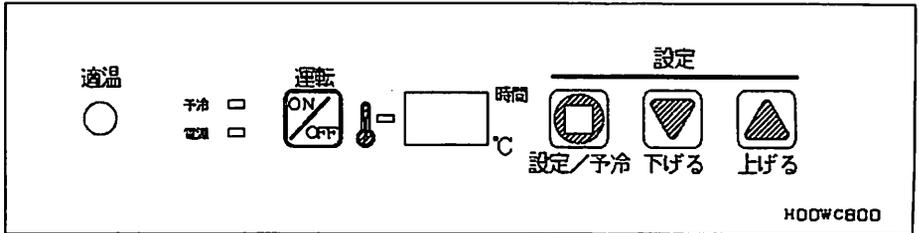
雑菌の繁殖を防ぐために3℃コントロールを行います。

予冷完了時間の90分前から設定水温に可変し、

設定時間後に食材を投入するのに適した水温にします。

操作方法

操作板



○冷却運転手順

【電源投入】

1. 漏電遮断器を ON にします。

【待機中】

1. 待機中に  を押すと冷却運転に移行します。

【冷却運転中】

1. 冷却運転中に  を押すと水温設定に移行します。
2.  に水温が点滅で表示されます。(初期値 0℃)
3.   で水温を設定してください。(0℃～10℃まで設定可能)
(水温設定中に  を押すと水温が決定されます。)
4. 冷却運転中に  を長押しすると待機中にもどります。

【待機中】

【電源OFF】

※電源(漏電遮断器)をOFFする場合は必ず待機中にしてから電源をOFFにしてください。
待機中に戻さずに電源(漏電遮断器)をOFFすると停電がおこった場合に表示される「t」が
操作板の  に表示されます。

操作方法

○予冷運転手順

【電源投入】

1. 漏電遮断器を ON にします。

【待機中】

1. 電源投入後、待機中で  を押します。

【予冷時間設定】

1. 予冷ランプが赤で点滅、 に時間が表示されます。(初期値 8 時間)
2.   で時間を設定してください。(4 時間～99 時間まで設定可能)
(時間設定中に  を長押しすると待機中にもどります。)
3. 時間設定後、 を押すと予冷運転に移行します。

【予冷運転中】

1. 予冷運転中に  を長押しすると予冷時間設定にもどります。
2. 設定した予冷時間が経過すると冷却運転に移行します。

【冷却運転中】

冷却運転中の操作方法は (P.15 参照)

【待機中】

【電源OFF】

※電源 (漏電遮断器) を OFF する場合は必ず待機中にしてから電源を OFF にしてください。
待機中に戻さずに電源 (漏電遮断器) を OFF すると停電がおこった場合に表示される「t」が
操作板の  に表示されます。

※予冷運転中に停電が起こった場合は  に「t」が表示され、
通常の冷却運転に変わります。

操作方法

○停電が起こったときの解除方法

冷却運転中、予冷運転中に停電が起こり、復帰した場合  に

t と水温が交互に表示されます。

t 表示を解除するには以下の手順を行ってください。

【冷却運転中】

↓
1.  に t と水温が交互に点滅している状態で  を長押ししてくださ

【待機中】

1. 待機中にもどると t と水温の交互点滅が消えます。
2. P.15~16 を参照し、冷却運転、予冷時間設定を行ってください。

○ポンプ空運転「P○」表示の解除方法

冷却運転中にポンプ空運転が起こった場合  に P○ と水温が交互に表示されます。

予冷運転中にポンプ空運転が起こった場合  に P○ と時間が交互に表示されます。

P○表示を解除するには以下の手順を行ってください。

【冷却運転中】

↓
1.  に P○ と水温が交互に点滅している状態で  を長押ししてください。

【待機中】

1. 待機中にもどると P○ と水温の交互点滅が消えます。
2. P.15 を参照し、冷却運転を行ってください。

操作方法

【予冷運転中】



1.  に P.O. と時間が交互に点滅している状態で  を長押ししてください。

【予冷時間設定中】

1. 予冷時間設定中にもどると P.O. と時間の交互点滅が消えます。
2. P.16 を参照し、予冷時間設定を行ってください。



お手入れと点検

警告

製品に直接、水をかけかないこと

- ショート・感電の原因になります。



水掛け禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理は行なわないこと

- 分解・修理に不備があると異常動作によりケガをしたり、修理に不備があると感電・火災等の原因になります。



分解禁止

いかなる場合も改造は行なわないこと

- 改造に不備があると異常動作によりケガをしたり、感電・火災等の原因になります。



改造禁止

注意

掃除をするときや点検のときは必ず配電ブレーカーを『OFF（切）』にしてから電源プラグを抜くこと

- 感電やファンによるケガ、ヒーターによる火傷の原因になることがあります。



電源プラグをコンセントから抜く

— おお願い —

- クレンザー、酸類、ベンジン、ガソリン、オゾン水、シンナー、アルカリ性洗剤、塩素系殺菌消毒剤（次亜塩素酸ナトリウムなど）、熱湯などは使わないでください。（製品のプラスチック・金属類を傷めることがあります。）



●外装

乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れのひどいときは、ぬるま湯か水でうすめた食器用の液体洗剤をしみこませた布で拭いてください。外装はクレンザーやタワシなどで磨かないでください。傷がつきます。

●水槽内

運転終了後は水を抜き、水洗いしてください。汚れのひどい時は、薄めた食器用の液体洗剤をしみこませた布を使用し、十分に洗い流してください。水槽内はクレンザーやタワシなどで磨かないでください。傷がつきます。

●水槽内ガイド・スノコ網は取り外して水拭き、

または水洗いしてください。汚れのひどいときは、中性洗剤を入れたぬるま湯でまる洗いし、十分に流してください。各部品はクレンザーやタワシなどで磨かないでください。傷がつきます。



- 電源プラグを抜いてもしばらくはファンなどが動いていますので、3分以上待ってから点検・掃除を始めてください。

- 電源プラグを抜いた後は、点検・清掃中に誤って差し込むことがないように手元に置いてください

- 電気装置や内部配線には絶対触らないでください。

- 洗剤を使った後は、洗剤分が残らないように拭き取ってください。

注) 溶剤を含む洗剤（例えばマジックリン等）は使用しないでください。樹脂部分が劣化し、クラック・割れが発生する場合があります。お手入れをする場合は、ぬるま湯か水で薄めた食器用の液体洗剤を染み込ませた布で拭いた後、乾いた布で仕上げてください

お手入れと点検

凝縮器フィルターの清掃

⚠ 注意

清掃のためフィルターを取り外す時は、
凝縮器フィンに直接、手を触れないこと
●ケガの原因になることがあります。

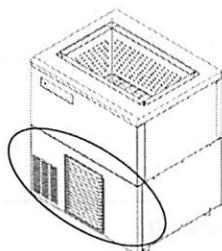


接触禁止

- 月に1～2度、定期的下記の手順に従って掃除してください。
※汚れたままで使用すると冷えが悪くなったり、機械の故障の原因となりますので注意してください。

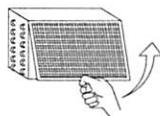
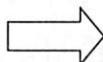
1. 機械室パネルを手前に引いて、機械室パネルを開けてください。
2. 機械室パネルを取り外し、凝縮器フィルターの下部のつまみを持ち上げ、手前に引いて取り外してください。
3. 取り外した凝縮器フィルターは、たわし等で水洗いしてください。
4. 逆の手順で、外した凝縮器フィルターを取付けたあと、機械室パネルを閉めて固定してください。

①



機械室パネル

②

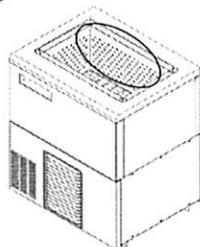


整流キャップの清掃

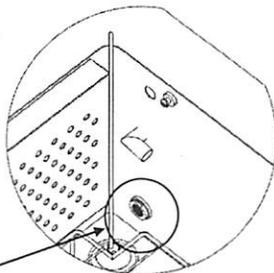
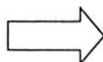
- 1日1回、下記の手順に従って掃除してください。
※汚れたままで使用すると冷えが悪くなったり、機械の故障の原因となりますので注意してください。

1. ガイド正面、背面を取り外してください。(P. 6参照)
2. 整流キャップについている汚れをとってください。正面側、背面側の2か所にあります。
3. ガイド正面、背面を取り付けてください。(P. 6参照)

①



②



整流キャップ

背面側

修理を依頼する前に



注意

異常時は配電ブレーカーを『OFF（切）』にしてから電源プラグを抜くこと

●異常のまま運転を続けると感電・火災等の原因になります。



電源プラグを

コンセントから抜く

- 製品に異常が生じたときは、次の点をお調べになってから、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、ご相談されるときはこの製品の形名・製造番号（No. ）および、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

このようなとき	説明
ぜんぜん 冷えないとき (運転しないとき)	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがはずれていませんか。 ●停電ではありませんか。 ●送圧が低くありませんか。 ●配線ブレーカーやヒューズが切れていませんか。
よく冷えないとき	<ul style="list-style-type: none"> ●水温の設定は適正ですか。 ●食品が入りすぎていませんか。 ●日光の直射をうけていませんか。 ●まわりの風通しはよいですか。
冷えすぎるとき	<ul style="list-style-type: none"> ●周囲の温度が5℃以下ではありませんか。
外装などに 露がつくとき	<ul style="list-style-type: none"> ●梅雨、夏期および雨の日など湿気の多い日には露がつくことがありますが、これは故障ではありません。ときどき拭きとってください。
騒音がするとき	<ul style="list-style-type: none"> ●床はしっかりしていますか。 ●水平に据え付けてありますか。 ●製品本体とまわりの他のものとふれあっていませんか。 ●機械室の中に異物が挟まっていませんか。

修理を依頼する前に

●水温/設定表示が下記になった場合の対応

	表示	運転状態	お確かめください	処置方法
1	FL	冷凍機 ON ポンプ ON	機械室の温度が上がっています。 ・凝縮器フィルターが汚れていませんか？ ・凝縮器前にものを置いていませんか？ ・周囲温度は高くありませんか？	機械室の温度を下げてください。 ・凝縮器フィルターが汚れていれば掃除してください。 ・凝縮器前にものをふさがらないでください。 ・換気扇の設置や空調機を運転して、周囲温度を下げてください。 ・風通しを良くしてください。 一機械室の温度が下がれば、水温表示に戻ります。
2	HP	冷凍機 OFF ポンプ OFF	・機械室の上または内部にものを置き、風通しが悪くなっていませんか？	・風通しを良くしてください。 一機械室の温度が下がれば、水温表示に戻ります。
3	Po	冷凍機 OFF ポンプ OFF	循環ポンプに水が流れていません。 ・整流キャップが汚れていませんか？ ・水槽に水が入っていますか？ ・排水栓がきちんと閉まっていますか？	・整流キャップが汚れていれば掃除してください。 ・水槽に水がなければ入れてください。 ・排水栓をきちんと閉めてください。 一待機中になると解除されます。(P.17~18参照)
4	t	冷凍機 ON ポンプ ON	停電が起こったときに表示します。 ・食材を冷却している場合は食材の状態を確認してください。	一待機中になると解除されます。(P.17参照)
5	Fo	冷凍機 ON ポンプ ON	—	フローズスイッチの異常です。 お買い上げの販売店へご相談ください。
6	※E0	冷凍機 ON ポンプ ON	・食材を冷却している場合は食材を確認してください	各種センサーの異常です。 お買い上げの販売店へご相談ください。
7	E1	冷凍機 ON ポンプ ON	—	各種センサーの異常です。 お買い上げの販売店へご相談ください。

5,6の表示が出た場合や1,2,3,4の表示が繰り返し出るような場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

※E0表示が出た場合は、応急運転として冷凍機10分ON/60分OFFの運転を行います。

水槽内の水が冷えているとある程度の時間水温を保持できますが、新しい食材の冷却は行わないでください。
また外気条件によっては水温を保持できない場合がありますので食材を別方法で保管してください。

移設・廃棄・譲渡

移設

警告

移設は、販売店または専門業者に相談すること

- 据え付け不備があると水漏れ、感電、火災等の原因になります。



専門業者

- 転居の際は住所変更先をお買い上げの販売店へご連絡ください。

- 長距離の運搬移動の際には嚴重に荷造して、横積み・逆積みなどしないようにしてください。

廃棄

警告

廃棄は専門の業者に依頼すること

- 放置しますと事故の原因になります。適切な廃棄を行わない場合、違法行為となり罰則が課せられます。



専門業者

- この製品は「特定製品に係わるフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」の第1種特定製品です。廃棄するときは、都道府県に登録された第1種フロン類回収業者にフロン類の回収を依頼してください。(有料)

- 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により、無断で廃棄されますと違法行為となり、罰則が課せられます。

譲渡

警告

譲渡の際はこの取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めること

- 新しく所有者となる方が安全で正しい使い方をするために必要となります。



注意

保証とアフターサービス

保証書

- ・この冷水チラーには、「保証書」を別途添付しております。
- ・保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- この冷水チラーの保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。ただし冷凍サイクルは2年間です。その他くわしくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の最低保有期間

- ・冷水チラーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後9年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- ・修理に関するご相談や不明な点は、お買い上げの販売店または、お近くの支店・営業所にご相談ください。なお、所在地は添付一覧表をご参照ください。

修理を依頼されるときは

出張修理

- ・使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源プラグをコンセントから抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。
- また、食品の補償等、製品修理以外の責はご容赦ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎているときには

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	冷水チラー	
形名		
お買い上げ日	年 月 日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください	
お名前	電話番号	訪問ご希望日
便利メモ	販売店名	
	電話番号	

販売店名を記入されておくと便利です。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

MEMO



A series of horizontal lines for writing, consisting of 20 evenly spaced lines that fill the majority of the page.



MEMO



A series of 20 horizontal lines for writing, arranged in two groups of 10 lines each. There are two small, dark, circular marks on the left side of the page, one on the 5th line of the first group and one on the 5th line of the second group.

長年ご使用の機器の点検について

安心してお使いいただくために、定期的な点検・お手入れを！

チェックポイント	お手入れと対策
製品の周囲に隙間がない、あるいは凝縮器フィルターが目詰まりしていませんか。	排熱が悪くなって冷却性能が弱まり、電気代のムダになるので、隙間をあけてください。凝縮器フィルターは取扱説明書に従い定期的に清掃してください。
電源プラグや電源コードが製品本体や他の製品で押し付けられていませんか。	電源プラグが損傷しないよう、隙間をあけて設置してください。
電源プラグをコンセントに差し込んだ時、差し込み状態がゆるくガタついていませんか。	異常の場合は、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
電源プラグ、コンセントの周囲にホコリや湿気がついていませんか。	電源プラグをコンセントから抜いてから乾いた布でホコリや湿気を取り除いてください。
雨水がかかる可能性がありますか。	製品は屋内用です。雨水のかかる場所でご使用されると漏電・感電の原因になります。必ず屋内でご使用ください。

以下のような異常を見つけた場合は、直ちにご使用を中止し、漏電遮断器を『OFF(切)』にしてから電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

- 電源コード、電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードの被覆が破れている、挟まれつづれた跡、かじられた跡がある。
- 焦げくさい臭いがする。
- 本体にさわるとビリビリと電気を感じる。
- 漏電遮断器が動作する。
- 異常音や異常振動がする。
- 運転音が異常に大きくなった。

Fukushima 

福島工業株式会社

本社 〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島 3-16-11 TEL (06) 6477-2011

お買い上げ日	年	月	日
販売店名			
	TEL		

H3023000